

都市再生整備計画(第2回変更)

つきのうらちく
月浦地区

くまもとけん みなまたし
熊本県 水俣市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	水俣市	地区名	月浦地区	面積(ha)	9ha
-------	-----	------	-----	-----	------	--------	-----

計画期間	平成17年度 ~ 平成21年度	交付期間	平成17年度 ~ 平成21年度
------	-----------------	------	-----------------

目標	本市総合計画「基本構想」に掲げる、本市の都市像「エコポリスみなまた～人・環境・経済がもやい輝くまち～」を目指す施策を推進するもので、少子高齢化社会に備え、高齢者・障害者・児童・母子等をはじめとする、すべての人が生涯を通じて幸せに暮らせる「もやい輝くまちづくり」を目指す。
大目標	
目標1	高齢者・障害者専用住宅も含んだ公営住宅を整備することにより、人にやさしい住宅を建設する。
目標2	「自立と社会参加の促進」、「健康福祉サービスの推進」を目的として、子ども・若者・老人との交流の場としての公園等や福祉施設を整備する。
目標3	各施設間をやさしくつなぐ「バリアフリーアクセス道路」を整備する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
 本地区は水俣市の南部、市役所より南に5km、道路は国道3号と隣接しており、不知火海と天草の島々を見下ろすならかな丘陵地にある。本地区及び隣接する袋地区は、漁港集落が多く、水俣病患者が多く発生した地域であり、今もおお、在宅の水俣病患者も多い。そのような市民も高齢化が進み、地域のコミュニティづくりにも行政的配慮が必要な時期となっている。このようなことから、本地区に平成9年度から「高齢者や障害者にやさしいまちづくり・地域コミュニティを大切にすまちづくり・ずっと住んでいたいまちづくり」をテーマとして月浦地区の整備を進めてきた。整備率は現在約50%(1工区、2工区)であり、県営住宅27戸、市営住宅25戸、コミュニティ再生のシンボル南部もやいセンター「おれんじ館」、精神障害者生活訓練施設「まどか園」、市道月浦・村上・月浜線等の整備が完了している。

課題

若年層(40歳以下)向け公営住宅の不足、屋外での地域コミュニティ活動の場所の未整備、各施設をつなぐバリアフリーアクセス道路の未整備等、すべての人が住みやすいまち、人々が助け合い寄り添って生きる「福祉のまちづくり」としての魅力に欠けている。

○すべての人が住みやすい、魅力ある公営住宅の整備が遅れている(特に若年層の希望者が多い)

○すべての人が安全で安心して使える、地域コミュニティ活動の場としての公園整備が必要である。

○新たに整備する施設をつなぐ、バリアフリーアクセス道路整備が必要である。

○障害者等の雇用の場が必要である。

年度	市全体	月浦希望	入居実現
14	133	44	2
15	117	29	2
16	111	48	0

将来ビジョン(中長期)

安心と生きがいをもたらす福祉の基盤づくりや、住環境の整備、個性豊かな住みよい社会環境の創造といった生活環境の整備を進めることで、地域を愛し地域活力の原動力となる若者やU・I・ターン者などの定住を促進することが重要である。そのため、高齢者・障害者・健康者をはじめとするすべての市民が住みやすいまち、人々が助け合い寄り添って生きる福祉のまちを目指して福祉ニュータウンの整備を行う。

○若者、高齢者、障害者等に配慮したすまいを整備することにより、健康者と高齢者、障害者がともに「もやい、助け合い」ながら生活できる生活環境を創出できる、住宅ゾーンを整備する。

○すべての人が安全で安心して使える、地域コミュニティ活動の場及び高齢者、障害者でも利用できる軽度運動器具を設置した「心も体も輝くコミュニティ公園」を整備する。

○新たに整備する施設間をつなぐ道路は、ユニバーサルデザインに配慮した「ただで健康になれる、安全で安心なウォーキング道路」を整備する。

○老人ホーム、ショッピングセンター等を民間活力を利用して建設し、雇用の場を創出するとともに、各施設にふれあい交流の場を設ける。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
若い世代の定住化による人口増加	人	住宅入居予定者数 25世帯(8戸×1人+17戸×2.5人)*70%=35人(40歳以下)	定住による人口増加及び地域活力の増進	96	17	131	21
交流活動(地区イベント)の開催	回	公園等利用した地域活動の開催	すべての人が交流できるイベント等による地域活性化	0	17	3	21
道路のバリアフリー化	%	バリアフリーアクセス道路の整備率(920m/1440m)	ただで健康になれる、安全で安心なウォーキング道路	64	17	100	21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(高齢者・障害者専用住宅をも含んだ公営住宅を整備することにより、人にやさしい住宅を建設する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の整備 ・県営住宅の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等整備(基幹事業) ・公営住宅整備事業(関連事業・熊本県(予定)) 	
<p>整備方針2(「自立と社会参加の促進・健康福祉サービスの推進」等を目的として、こども・若者・老人との交流の場としての公園と福祉施設を整備する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニケーション活動の場及び高齢者、障害者でも利用できる軽度運動器具を設置した「心も体も輝くコミュニケーション公園」を整備し、併せて施設内の案内板を整備する。 ・公園設計ワークショップ ・老人ホームの整備 ・商業施設の整備 ・分譲宅地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園(基幹事業/公園1箇所) ・地域生活基盤施設(基幹事業/公園案内板) ・まちづくり活動推進事業(提案事業/ソフト事業) ・用地(水俣市) 建設、運営(社会福祉事業団) ・民間(関連事業) ・水俣市土地開発公社(関連事業) 	
<p>整備方針3(各施設間をやさしくつなぐ「バリアフリーアクセス道路」を整備する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに整備する、施設をつなぐ道路は、ユニバーサルデザインに配慮した「ただで健康になれる安全で安心なウォーキング道路」を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業(基幹事業/2路線) 	
その他		

都市再生整備計画の区域

つきのうららちくくまもとけんみなまし 月浦地区(熊本県水俣市)	面積 9 ha	区域 みなましつづきのうららち 水俣市月浦の一部
------------------------------------	------------	--------------------------------

